

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

こぶし

第 132 号

発行責任者：横井正人

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9

E-mail: kobusiza@wing.ocn.ne.jp

2010年8月10日発行

編集：機関紙局

北海道函館市陣川町 122-172

年 2 回発行

http://www18.ocn.ne.jp/~kobusiza/

主な内容

- (1) 第 12 回通常総会開かれる
- (2) 今年度の公演計画
- (3) 公演報告（寄稿）
- (4) 旅のスケッチ…「人」編



夏本番！
アイ汗かいてます。



【ひゃー！獅子コワ～イ…】

さる、7月12日～14日の三日間にわたって、白老町内の障害者支援施設など六カ所の施設で小規模の公演を実施してきました。

助成金交付で、
六施設を慰問。
(白老町)

みなさま、お元気ですか？全国的な異常気象の影響で、降雨による災害や遭難事故、猛暑による熱中症被害などの報道に胸を痛めておりましたが、お住まいの地域では大丈夫でしょうか。こちら「こぶし座」では、先日「こぶしTheまつり」が行われ、雨模様にもかかわらず百五十人を超える参加で賑わいました。福祉施設での夏祭りやご町内の納涼祭りなど忙しい日々が続いています。

暑中お見舞い
申し上げます。

稽古場では、秋からの一般公演に向け「豊年こいこい」の仕込み稽古も始まりました。昔ながらの、手作業による米作りの様子を踊りながら改めて、農家の方々が丹精込めて育てた農作物を食して生かされていることに、感謝の気持ちをごみ上げてきます。まだまだ、暑い熱い？夏が続きます。体調管理を万全にして、お元気で過ごしてください。



【園生と感動的なフィナーレ】

この慰問公演は、昨年12月に同町での一般公演を取り組んでくださった、白老町・手をつなぐ育成会の佐藤春光さん(通所授産施設「フロンティア」施設長)が計画してくれたもので、「ろうきん社会貢献事業」の助成金交付を受けて行われることになったものです。

第12回「通常総会」開かれる。

遅くなりましたが、概要をお伝え致します。

さる、四月二十九日(木) 山桜とコブシの花が咲き誇るなか、「第十二回通常総会」が行われました。

社員総数二十名、出席数十四名。はじめに、横井理事長の挨拶があり、開会しました。

* * *

第一号議案「二〇〇九年度事業活動報告」では、制作活動を精力的に行い、沢山の出会いと感動のなか百二十七回(一七、三六三人)の公演・講座を開催。芸能の調査研究取材などは最小限に止まらざるを得なかったものの、数々の事業を実施したことが報告されました。

第二号議案「二〇〇九年度収支決算報告」では、市町村自治体や北海道からの助成金交付を活かした実行委員会づくりや、各種の要求に沿った多様な公演活動を展開してきたが、公演収入目標が達成できずに厳しい経営状況にあることが報告されました。

続いて、監事の金城氏から「監査報告」が行われました。税理士業に携わる立場から「他の業界を見ても倒産・店じまいが相次ぎ大変な状況。

こんな時だからこそ、心豊かにする文化が必要。何とか公演収入の落ち込みを食い止め展望を切り開いてほしい。」と発言がありました。

* * *

第三号議案「二〇一〇年度事業活動計画」では、伝統芸能の調査研究・作品創造・公演活動などの計画が提案されました。厳しい現実にも負けることなく、今こそ民族芸能の魅力を最大限に活かし、やり甲斐のある楽しい活動を展開して行こうと様々な意見交換がなされました。

第四号議案「二〇一〇年度収支予算」では、全座の力を結集し、支持者の方々の協力を得ながら多面的な活動を展開して目標達成に向かうことが提案されました。

以上、全議案が承認され審議を終了しました。尚、座員の田畑が体調を崩し休座体制を取って活動参加することも確認されました。

※新役員は次の通り。
理事長 横井正人(再)
理事 中尾雄児(再)
計良 徹(再)
監事 金城公雄(再)

総会での発言から

村田さつき(公演部)

の発言を紹介します。

(…前略…)

昨年は、私にとつて「挑戦」という年でもありました。

公演活動では、小学校演目

で新しい課題に挑みました。「舞台に立ち、演ずる中でつかめることがある。」という言葉に背中をおされ、稽古に励みました。公演が終わるご

とに、先輩方の助言とビデオの映像を頼りに自分の中でイメージをふくらませ、回を重ねました。そんな中で、小学校から送られてくる児童の感想文の中に、「ひよっこ、おもしろかった。」「トンコリの音がきれいだった。」の一文を見つけた時、表現や演奏の技術に不足があるけれど、なんとか内容を伝えることができたのかな。と、嬉しさがこみ上げました。



今年度もよろしくお願ひ致します！

今年の公演では、さらに表現の向上を目指したいです。

制作活動でも「挑戦」しました。助けを借りながらでしたが、今金町と七飯町大沼の2つの地域で、実行委員会形式の公演を成功させることができました。

『江差のもちつきばやし』を踊った元気な酪農青年は、「座に遊びに来てよ！」の声かけに、「じゃあ、牛、連れかねいとなんないな。」と自分の仕事への誇りや牛への愛情をにじませ、聞くものを笑顔にさせてくれました。

こういう、心優しい人達と関わることが私の誇りだなと思えました。

「会場を満員にしよう。まずは取り組む自分達が楽しもう！」の合い言葉通り、毎回の実行委員会には出席者が多く賑やかでした。会のあとには、お茶を飲みながら健康の話や街の景気の話、農業の話など

様々。自分の住んでいる地域への想いが伝わってきました。そんな一人ひとりが、こぶし座のチケットを広め組織して公演が実現する・・・改めて感謝の気持ちを噛みしめる経験となりました。

考えてみれば、座員になって8年。今までは、先輩方

後ろについて行くので精一杯。「精一杯」とは、我ながら情けない話ですが、それが現状でした。でも、これまでの経験を通して、少しずつ積み上げてきたものがあります。それが、確かな自信へとつながるんだということを実感しています。

この8年間で、やっと、「私はこぶし座で生きている」と胸を張って言える自分になった気がしています。そして「やっと、入り口にたどり着いた。」と言うような、清々しい気持ちです。

【今年の公演計画】

※決定分(7/31 現在)

(一般公演)

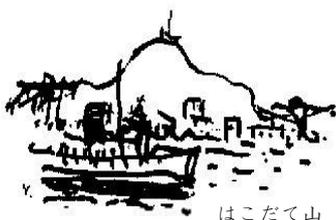
- 8月28日 釧路町・遠矢地域
- 9月12日 帯広市・緑西地域

(学校公演)

- 8月23日 函館市・旭岡小
- 24日 鹿部町・鹿部小
- 30日 釧路市・鳥取小
- 9月1日 帯広市・若葉小
- 3日 北広島市・西の里小
- 9日 釧路市・鶴野小
- 14日 札幌市・澄川南小
- 17日 岩見沢市・第一小
- 21日 札幌市・西白石小
- 10月5日 札幌市・栄町小
- 6日 札幌市・栄小

(幼稚園・保育園公演)

- 10月2日 小樽市・ポッポの家
- 4日 札幌市・ひがしなえぼ幼
- 12日 乙部町・全保育園
- 上ノ国町・全保育園
- 13日 江差町・全保育園
- 14日 厚沢部町・全保育園
- 11月10日 札幌市・北の星白石保
- 24日 函館市・人見保
- 25日 函館市・赤川保



はこだて山

公演報告 (寄稿)

今年、これからの座活動のあり方を模索して、地元を、そして、より地域を意識して活動を展開しようと計画しています。各地で核となって取り組んでくださった三人の方に報告していただきました。

「ありがとうございます、

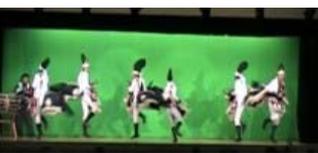
二月のこぶし座」

(まちおこし仕掛人)

金谷奉宏

「さる二月十三日、民族歌舞団こぶし座による公演が行われ三〇名余の観客動員のなか感動と感謝のうちに終了、万雷の拍手のうちに緞帳が降りた時、私達はそれを確信したのであります。

限界集落、過疎地域など地方はこの様に表現されてから久しい。私達は何とか地域力を持つ、まちおこしに励もうとすれども先の見えぬまま悶々としていた処、こぶし座公演の話があり打ち合わせを重ねるうちに地域おこしの起爆剤はこれだ！との思いに至りました。たしかに観客(町民)の皆さんはこぶし座公演の圧倒的なステージにて各地の伝承芸能や町内の伝承文化の素晴らしさに勇気とパワーをもらいました！



【公演当日に、若い後継者たちが披露した「白符荒馬踊り」】

今、当地では白符荒馬踊りや松前神楽のしばらく途絶えていた後継者が育ちつつあり、即ち伝承文化の良さに気

さる二月十三日、民族歌舞団こぶし座による公演が行われ三〇名余の観客動員のなか感動と感謝のうちに終了、万雷の拍手のうちに緞帳が降りた時、私達はそれを確信したのであります。組織をたちあげてから四年余りの公演活動を誇るこぶし座の皆さんに敬意を表します。さらにはこれからもますます日本国中の、特に地方での公演にご活躍されます様ご祈念いたしております。

吹っ切れてみると、パーッと明るくなり、やるべき理由がこれまたぞろぞろ。冬は楽しみが少ないから喜ばれそうだし完成した公民館のお披露目にもなり、なんとたつて頑張っている「こぶし座」の応援にもなる訳だ。もひとつ忘れちゃいけないのが若者達のお披露目の仲間や知人に声をかけたから快く賛同してくれまして、座の名前さえ知らなかった方からこれで3回目という人まで20代から60代までの男女20名で実行委員会がスタート。

やっばり やって良かったわ 第3回七飯町 大沼地区公演実行委員 山川俊郎

座の村田さんから「10年も経ちますよ、そろそろ如何でしょう」って電話をもらい、最近やたらに忙しいので、とか若くもないしってぐずぐず。そしたら、かあちゃんから「皆さんが喜んでくれるんだから頑張んなさいよ」って、ポーンと背中を押してくれました。



【最後の送出し…。 「感無量っス!!」】

おいしいトマト屋の小泉敬さんが実行委員長となって、1番大事な入場券の設定はしっかりと論議。この時期に家

2月14日、バレンタインデー。会場には幼児からお年寄りまで150名もが集まりました。こぶし座の力強くも洗練された演技に引き込まれた会場が一段と盛り上がったのは、若者達の「江差のもちつきばやし」。わが街の逞しい後継者たちに熱い拍手が送られていました。

4月7日、7名で「こぶし座を楽しむ会」を立ち上げました。事務局長になった私の最初の仕事は体育館を借りることでした。園長さんは初めてのことで心配されたのですが、理事長さんが「良いことですから」といろいろ説明してくれて、許可が下りました。早速、町内会と老人クラブに後援をもらって、パソコン



【公演成功の想いを語る若者達】

公演を取り組んで 大楽毛西地区 こぶし座を楽しむ会 佐々木孝雄



【園児と一緒に心とむひと時を…】

でチラシと券をつくり、町内会や老人クラブの役員、道東勤医協の友の会大楽毛支部に、券売をお願いして歩きまわした。公演の10日前で、目標110に対し集約は80枚、これでは赤字と追い上げをかりました。幼稚園も父母に公演参加を呼び掛けてくださいました。そして迎えた公演。前席には園児87名、後席には一般117名と満席で、開演前から孫と祖父母が集まったような楽しい雰囲気でした。ソーラン節、江良杵振り舞、荒馬、寿獅子など、あつという間の1時間でした。参加者からは、「三世代参加の公演で、孫に元気を頂いたことを感謝します」、「こぶし座の元気と園児の声に励まされて、元気が出ました」など言われ、取り組んだ私達も大変楽しかったです。

初心に帰る場所

松岡智恵美

十勝平野のほぼ中央、音更町で畑作農家を営む得地三郎・キク子さん夫妻。座を古くから支えてくれている方だ。

22年前、座の研修を終え待望の公演部に加わり活動し始めたその年、私は初めて得地さんとお会いし、公演の宣伝活動で知人宅と一緒に訪ねて回った。実行委員長である得地さんと新米で最も頼りない私とで：

大きなたくましい身体から発する言葉、笑顔、雰囲気はとても穏やかで温かい。「忙しいのにごめんなさいね」：相手を気づかいながら協力をお願い。座の公演を見たい気持ち伝わっていく。そうして配券者は一人一人増えていった。演目の説明にすらド緊張の私。「すみません、しどろもどろで」と恐縮すると「いやー大丈夫、また預かってもらえたねえ」と励まし



健康祭りの会場で

喜んでくれる。父のような年齢の人がこぶし座公演成功のためにこんなにも一生懸命になってくれる、こうして人と人がつながっていく：感動だった。

今年六月、十勝勤医協健康まつりに出演。「会いたかった」と手作りのお弁当をたくさん持って駆けつけて来てくれたキク子さん。抱き合っ

旅のスケッチブック

アイヌ文化伝承者

遠山さんを訪ねて公演部

十勝公演の帰り道。

「よく来た、よく来た。会いたかったよー。」両手を振り上げ、庭で手招きするサキさんに迎えられる、浦河町の自宅に伺った。

怪我で思うように動かない両手で、お茶やお菓子を勧めてください。数ある写真を拝見しながら親子三代に渡っての活躍ぶりをお聞きし、サキさんの若かりし頃の話へとさかのぼっていきます。厳しい生活状況のなかでの五人の子育て。畑を耕し豚を



今年82歳になるサキさんと

て互いの無事？を喜び合う。「お父さん連れてくるから」と病院内へ。ステージに立つと客席の最前列に得地さんが！車いすに乗ってはいいてもあの笑顔は変わらない。嬉しくて、素直な心でただ一生懸命踊る。初心に帰る。いつまでも元気でいてほしい。次の再会まで、私もまだまだがんばろうと思う。

飼って生活の糧にし、子どもとの協力で家計を支えてきたこと。友人だった鷲谷サトさんと共に山菜取りで迷ってしまった、山で一夜を明かした怖くて楽しい思い出など、尽きることのないお話しに笑い涙し、時間を忘れて聞き入ってしまった。昨年大きな病気をされたにも拘わらず「やり残したことがあるから、あと三年はどうしても逝く訳には行かないのよ。」先生にも頼んできたんだよ。「明るく話すサキさんの笑顔が、眩しく輝いています。また、遊びに伺います。

今年も開講!!

第七回 札幌「笛・太鼓講座」

毎年恒例の札幌講座。

今年で7回目の開催となる笛と太鼓の講座(7月10日、11日の二日間)は、24名が参加して行われました。

広く市民を対象にしていますが、日常の実践に活用しようとして、保育園や幼稚園の先生方の参加が特に目立ちます。酸欠と闘いながら、丁寧に息をつなごうと努力を重ねる受講者や、手にマメをつくりながらも指のテープを巻き替え巻き替え、必死に叩き込みを繰り返す人など、感動的なその姿に、今年もやはり胸打たれました。

参加者のみなさんの

感想アンケートより

・2日間、太鼓を学ぶという事で、初心者の私ができるようになるのか不安でしたが、今、この講座を終えて、爽快な気分です!!自分にもこんなに太鼓を打てる能力があったのかと驚いています。日本に生まれ日本で育ったのに、今まで一度も太鼓にさわったことがないということですが、すごくもったいないと思



真剣そのもの! 笛講座



「ウリヤ〜!!」 太鼓講座

たので、すごく助けて頂きました。昨日初めて会った方々なのに、太鼓を通して仲良くなれたことも嬉しかったです。技術はまだですが、たくさん練習して「海」を表現できるようにしたいです。うっている間は、本当に楽しくてすてきな2日間でした。ありがとうございます。

・2日間ありがとうございました。手がふるえて字がうまく書けません…。今回初めて太鼓をたたきました。とても楽しみにしてきました。なかなかうまくたたけなかったのですが、同じグループになった2人が後ろで数えてくれたので、

*



「終わった〜。」何とも言えぬ解放感!



座員・計良正子のご母堂小濱きみ子さんが、七月十九日逝去されました。生前のご厚情に感謝し、社員一同心からご冥福をお祈りいたします。